

柔道整復科

後療法実技2

対象	2年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	星野虎之助			実務経験	有	職種	柔道整復師				

授業概要

部位別に具体的な外傷の整復・固定・後療法等や治療に至るまでの注意事項を学びます。

到達目標

後療法とは、固定を除去した日から始まるものではなく、患部外への手技療法や運動療法など固定を施した直後から開始されるものである。各療法ともその意義を十分に理解して、注意すべき禁忌事項を把握した上で、必要な技術を体得する事を到達目標とする。

授業方法

教科書を参考に実技・実習を進める。実技授業中の手技療法・運動療法・物理療法の習得に関してはクラス内の学生をグループ分けにより班編成をして、患者役や施術者・助手役に分かれ、指導担当者からの指導により実際の対応に近い形で進めていく。将来必要とされる患者への説明技術を向上させることで informed consent の能力も育成する。

成績評価方法

試験と課題を総合的に評価する。

履修上の注意

国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。実技であるため白衣未着用であったり、爪の手入れ不足などの不衛生な状態での授業参加も認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。なお、授業時数の4分の1以上欠席した者は定期を受験することができない。

教科書教材

教科書（柔道整復理論-社団法人全国柔道整復学校協会 監修-）に準拠する。

回数	授業計画
第1回	脊柱の構造と機能について
第2回	腰痛の診方
第3回	肩甲骨周囲筋の触診

第 4 回	肩甲骨周囲筋の施術
第 5 回	上腕～前腕の機能について
第 6 回	上腕～前腕の施術
第 7 回	大腿～下腿の機能について
第 8 回	7回までの振り返りと確認演習
第 9 回	大腿～下腿の施術
第 10 回	足部の診方
第 11 回	足部の施術
第 12 回	全身（上半身）の施術
第 13 回	全身（下半身）の施術
第 14 回	ストレッチ
第 15 回	13週までの振り返りと確認演習